

## 2 食産業の振興

### ① デジタル技術活用セミナー ～販路開拓において急務とされる営業アプローチのデジタル化について考える～

当センターは、近年、社会経済活動の様々な面で進められているデジタル化の波を踏まえ、食品産業分野を対象に

- ・デジタル技術を活用して、業容拡大等に向けた意識高揚を図るとともに
- ・デジタル技術の活用による新たなビジネスモデルの発掘

などを目的として、8月6日、香川県高松市の「サンポートホール高松第2小ホール」において、四国健康支援食品普及促進協議会と共同で「デジタル技術活用セミナー」を開催しました。

これは、本年度に当センターが実施する経済産業省補助事業「四国における機能性食品創出のデジタルマッチング支援事業」における取り組みの一つとして実施されたもので、当日は、コロナの感染拡大を受け、急遽、無観客での開催に切り替え、食品企業、関係団体・機関を中心に約80名の受講者に対して、インターネット動画配信(※)を行いました。

(※ライブ配信中不具合が発生したことから、8月30日～9月7日の期間限定で、受講者全員に収録録画を限定配信しました)

#### < 開催結果 >

#### ◆講演 13:20～14:10 「デジタルの活用による新規事業の創出」

【講師】(株)アルファドライブ 代表取締役社長 兼 CEO 麻生 要一 氏

世の中の変化に応じて業態を変革させることの必要性について述べたうえで、デジタルの活用による新たな価値の創造に向けて最も重要なことは「課題の設定」であり、その課題の解決に向けては、顧客理解を深めたうえで、「顧客に対する仮説の提示、顧客からの修正依頼、仮説の修正提示」といった“サイクル”を回すことが最も重要であると結論付けられました。

#### ◆講演 14:10～15:00 「健康ビジネスにおけるデジタルの活用について」

【講師】(株)スポーツ 代表取締役 HealthBizWatch 編集主幹 大川 耕平 氏

デジタルヘルスの歴史とコンセプトの変遷、海外におけるユニークな先行事例を紹介するとともに、これまでの経験に基づきヘルスケアにおけるQOL・食事力の重要性を述べたうえで、最近の事例などを交えて、「デジタルヘルスと食品の関係、国内における可能性」について述べられました。

#### ◆事業説明 15:00～15:20 「四国における機能性食品創出のデジタルマッチング支援事業について」

【説明者】(一財)四国産業・技術振興センター 産業振興部 部長 食産業支援プロジェクトリーダー 三原 正樹

本事業の目的・推進体制について概説した後、事業説明用ビデオを投影し、最後に本事業の中心である「ヘルシー四国マッチングシステム(仮称)」について、それを活用したマッチングスキーム、全体の構成イメージ、メリットなどを紹介しました。

#### ◆パネルディスカッション 15:30～16:50 「販路開拓において急務とされる営業アプローチのデジタル化について」

【コーディネーター】高知大学 次世代地域創造センター 土佐フードビジネスクリエーター人材創出拠点 特任教授 富 裕孝 氏

【パネリスト】(株)アルファドライブ 代表取締役社長 兼 CEO 麻生 要一 氏

(株)スポーツ 代表取締役 HealthBizWatch 編集主幹 大川 耕平 氏

高知大学 次世代地域創造センター 土佐フードビジネスクリエーター人材創出拠点 特任講師 松田 高政 氏

販路開拓において急務とされる営業アプローチのデジタル化について、

◇対面営業からオンライン営業への転換における発想の切り替え

◇メルマガのアーカイブ化による情報・知見提供のあり方

などといった観点から幅広く議論が行われ、最後に、本事業のプロジェクトマネージャーである松田高政氏が本日の議論を総括したうえで、本事業への期待などを述べられました。



(講演 [麻生氏])



(講演 [大川氏])



(事業説明)



(パネルディスカッション)